



## 味はさらに向上

### 途別で新米の試食会

幕別の米づくりの歴史は明治三十三年に依田勉三が途別農場で七反歩の田を開き試作したのが、はじまりといわれています。

この当時は反当り一俵半から四俵の収穫でしたが、その後の品種改良や技術の向上で今では七俵半（四百五十キ）の収穫をあげています。

ところで、幕別の米どころ途別地区で恒例となった新米の試食会が、公民館まっりの、ひとつの行事として十一月九日に開催されました。

試食した新米はイシカリ、シオカリ、キタコガネの三種類。朝早くから地区のお母さんたちが

が炊きあげた純白の新米を、ひとくち、ひとくち食べくらべしました。

試食したみなさんの意見をまとめますと「三種類とも味はさらに向上し、本州米以上」という折紙がつけられ、米つくりのみなさんの努力が、たたえられました。

写真は本州以上と折紙がつけられた途別新米の試食会

広 報

12

1975

まくべつ

—No. 286—

町 別 幕 行 発  
係 聴 報 課 民 行 集 編  
社 株 業 紙 出 版 大 同 大 印

# 適正な水道使用料の額を 審議していただきます

## 各層から委員を委嘱しました

### 水道事業の現況

昭和二十八年に本町の上水道が完成、給水をはじめから、すでに二十数年を経過しております。

この間、いつも、きれいな水を各家庭におとどけできるよう努力を続けていますが、人口の増加や生活様式の向上から水の使用量が増えたこと、水道施設が古くなったことなどから昭和四十八年度から新しい

水道施設の建設をはじめております。

この新しい水道施設の建設は二万人の方々に給水出来るよう計画し事業をすすめており、昭和五十二年度には完成することになっております。この事業を町では、第一次

拡張事業と言っており

### 年々苦しくなる水道財政

本町の上水道は、地方公営企業法を適用している関係から、運営に必要な経費は、すべて料金でまかなういわゆる受益者負担となっており、原価の回収によって経営が維持されることになっております。

現在の水道料金は昭和四十六年八月一日に決りました給水条例で定められた金額ですが、その後の諸物価の高騰その他により水道財

政は年々苦しくなっております。

この結果、健全な運営を保つためには上水道および簡易水道の使用料金を改正する以外に解決する方法はない有様となっております。



### 使用料等審議会

水道料金を改正するにあたって受益者の皆さんに、本町の上水道事業の、おかれている立場を充分にご理解していただかなければなりません。去る九月二十日の町議会で幕別町使用料等審議会条例が可決され、これにもとずき水道使用料等審議会を設けました。

この審議会は町長の諮

問に応じて使用料などの額について審議し、その審議結果を答申することになっております。

町長が諮問を予定していることは次の通りです。

- (1) 水道使用料が受益者負担として適正であるかどうか（基本金超過料金など）
- (2) 計量栓・定額栓の適正な改善
- (3) 計量器使用負担区分

### 審議会委員のお名前

- |  |  |
|--|--|
| 第一次拡張事業とともに札内地区・豊岡・日新簡易水道地区を幕別上水道区域に編入しましたので、委員も商工業団体・農業者・勤労者団体・婦人会など各層の方々に委嘱しました。委員のお名前は次の通りとなっております。 | (町) 牛尾毅  |
| 秋山福治(新町) 増谷純一  | (本町) 林政則   |
| (旭町) 富谷晴一(軍岡) 笹井俊治(錦町) 森野幸作(南町) 牛尾毅  | (緑町) 上地 信一(錦町) 福野黎明(緑町) 宮本喜五郎(豊岡) 小山義男(相川) 谷友要(日新) 佐藤徳恵(駒島) 田村正男(春日) 嶋田富弘(青葉) 細川勝美(札内) 羽賀喜三(札内) 中島俊通(あかしや) 一宮四枝(本町) 森野喜久子(錦町) 藤原クラ(幸町) 小沢和枝(新町) 目黒セツ(相川) 村元節子(札内) 藤川博子(あかしや) |

諸物価の高騰その他から本町の上水道財政は破たん寸前の状態となっております。

本町の水道料金（基本料金）は十勝管内で最も安く、水を十立方メートル使っても四百二十円となっております。町では、この基本料金を据置いたため最大の努力をいたしました。したが、それも限界に達しましたので、過日の町議会に使用料等審議会条例を提出、認められましたので町内各層の方々に委員となつていただき、適正な水道使用料を審議していただくことになりました。

幕別消防署ではストーブを使う季節を迎えたところから、一般住宅を対象に防火査察を実施しています。

査察は市街地区からはじめています。ことし中には郡部も終らせる予定ですが、現在のところ外煙突の曲りの損が最も多くみられています。

十一月十四日には町内で住宅の火災がありました。原因は電気敷布の過熱でしたが、火災は、いっつのような条件で発生するか、わかりません。

ところで、ことしの春、消防署で実施した査察の結果をみますと幕別区内・糠内の各地区の査察戸数千九十八戸のうち、改善しなければならぬ不良のレッテルをはられたものは四百八十七件ありました。これは全体の四四・三五%にもなり、火災発生条件はいくらでもある。不良のレッテルをはられた四百八十七件の内訳をみますと

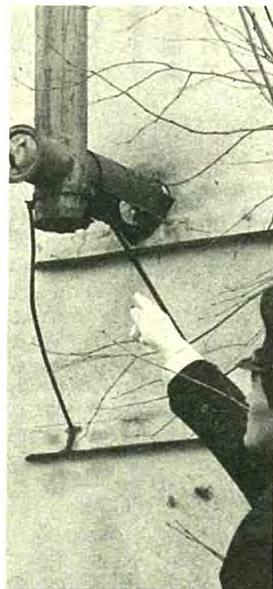
▼家用風呂 五十六件 ▼ストーブ 七件 ▼煙突・煙道 百十六件 ▼屋内外の整

整理とん 二百九件 ▼その他 九十九件

となつています。しかし、ちょっとした注意で大切な財産や生命を失わずにすむものです。注意しすぎた、ということはありません。十分に注意しましょう。

なお、ことしの火災発生件数は十月末現在で七件ありました。うち四件は建物の火災、のこりは林野二件、自動車その他一件となつ

## いくらでもある火災発生条件



### 最も多い外煙突の曲りの破損

ています。

この火災で特筆したいことは三人もの負傷者が出たということですが、幸にも負傷がすみました。建材の関係から最近の火災は死者が増える傾向にありますので、ご注意ください。

火災のおそろしさは体験してみても、はじめてわかるといわれています。しかし、このような体験は絶対にしたくないものです。

火災を出さないために

- (1) ストーブやガスコンロなどの周囲に燃えやすいものは置かない。
  - (2) マッチは子供の手のとどかないところに保管する。
  - (3) たばこは灰ざらで、寝たばこの悪い習慣はやめる。
  - (4) 寝る前、外出前には必ず火の元を確かめる。
- 火災に備えて

- (1) 万一の場合の心構えと、とっさの処置について家族全員で話しあう。
  - (2) 消火器・バケツいっぱいの水・避難ロープなどを用意する。
- 火災が発生したら

- (1) 隣近所に大声で知らせるとともに、消防署に場所を確実に知らせる。
- (2) 老人・子供・病人などを、まず先に避難させる。
- (3) いったん外へ逃げたら、物をとりに絶対にもどらないようにし、もし逃げ遅れた人がいたら消防の人に、すぐ知らせること。

## 南町第一公区で

### 老人慰安会を開催

南町第一公区(新屋敷公区長)では、公区に住んでいる七十歳以上の方々を対象に、十一月十六日のお昼から、宝町の近隣センターで「慰安会」を開催しました。

南町第一公区では、地区および幕別町の発展に努力された、お年寄りに感謝しようと、昨年からは慰安会を開催していますが、ことしの該当者は八十三歳を筆頭に十四名、この日参加したのは十名でした。

婦人会の皆さんが前日から腕によりをかけてつくった、かずかずのごちそうを食べながら、昔ばなしや歌やおどりに、お年寄りには涙



写真は南町第一公区のお年寄り慰安会風景

を流してよろこび、体に注意し来年も元気に会いましょうと、午後二時すぎに終わりました。

## スムーズな除雪のために ご協力をお願いします

ことしは例年になく雨がが多く、帯広側候所の調査では側候所開設以来といわれています。このため、ことしの冬は雪が多いのではないかと心配されています。雪が降りますと町では直ちに除雪をはじめますが、駐停車が禁止されているところは問題はないのですが、裏通りになりますと、車や、いろんな品物・材料が置いてあり、除雪に支障をきたしております。

車庫がなければ車を買うことが出来ないことになっており、たとえ裏通りでも道路路上に車を置くということはないはずですが、現実には、かなりの車が置かれています。

車を雨・風・雪にさらしますと、それだけ、いたみ方もひどくなります。愛車を永もちさせる意味から道路に置くことをやめ、スムーズに除雪が出来るようご協力ください。

# 道路整備や除雪体制を

五十年年度第二回公区長会議

## 身近かな問題を熱心に協議

昭和五十年年度第二回目の公区長会議が十一月十九日と二十日の二日間にわたって町営国民宿舎幕別温泉ホテルで開催された。会議は、あらかじめ公区長から提出されていた質問事項を中心に進められました。質問の内容は道路整備、下水溝の問題が最も多く、また降雪の季節を迎えたところから除雪についての要望もありました。主な内容は次の通りです。

市街地区の下水溝・道路・側溝の整備について。

五十年から五十七年までを下水道第一期整備計画とし事業をすすめるが、道路整備および側溝も下水道事業と関連があるので早急に工事をすすめる問題解決にあたりたい。

街路灯および防犯灯の新設および増設について。

設置希望が多いので現地を調査し年次計画で解決していききたい道路および歩道の除雪も実施してほしい。

町道および町道に準ずる道路の順に除雪をおこなうが、豪雪の際は借上車を投入し期待にそうように実施したい。

早急に連絡道路の設定をしてほしい（札内新北）  
住宅が年々増加しているところから、この付近の環境整備と住



写真は公区長会議の様

民の利便のうえからも必要なことなので新年度早々に関係住民と協議したい。

白人小学校通学道路の整備を早急に実施してほしい。

土地所有者とは話がついている

高校全入の世論を背景に公立高等学校適正配置計画をすすめていた北海道教育委員会では、去る十一月十一日に、その内容を公表しました。

これによりまずと  
道立幕別高等学校は  
昭和五十一年度から  
商業科が普通科にか  
わり、自動車科二間

口（募集定員八十人）、普通科一間  
口（募集定員四十五人）となりま  
す。

幕別高等学校は昭和四十年に道立の実業高等学校として発足し、

## 商業科を普通科に変更

### 幕別高校 今後は間口増加の運動へ

その役割を果してまいりましたがここ数年、普通科高等学校への進学希望者がふえ、町内から近隣市町村の普通科に進学する生徒が相

ので早急に解決したい。  
札内駅前の舗装と歩道橋の新設を促進してほしい。

国鉄用地を含んでいるので国鉄と協議しなくてはならない。現在は、まだ釧鉄局に打診した段

階より進んでいない。  
子供遊園地の遊具整備（東春日）  
子供の数からみて遊具が足りないようなので五十一年度に希望にしようよう実施したい。

公区内案内板の設置について  
五十一年度の予算で、わずかな額であるが補助したい。不足額は公区で解決してほしい。

五十一年度に防火水槽を設置してほしい（若草）  
水道課の水道敷設計画と併行して消火栓を設けたい。

相川二十号道路の舗装について  
第一期工事は猿別市街から相川六線まで、第二期工事で三十八号線まで実施するが、時期は五

十一年か五十二年になると思う  
相川六線道路（旧国道）の改良工事について

本年七月十一日に町内の各機関、団体の代表者からなる幕別高等学校普通科新設促進期成会を設けて普通科二間口の新設を目標に運動を続けてまいりました。

北海道教育委員会の  
計画では商業科が普通科に変わるだけで、募集される定員は今までと同じですが普通科の新設が実現したことは一歩前進であると考えられていますので、今後は間口の増加のため、なお一層、運動を続けていく方針です。

年度は未定であるが、今後の事業計画に折りこんで実施したい  
団地内道路を町道に認定してほしい（松島）  
町道の要件として防災・除雪などを考え、市街地で最低八割の中員が必要であり現状では認定出来ない。  
駒島パイロット事業による雑用水の排水工事を町費で実施してほしい。

負担の公平から言って受益者も負担していただかなくてはならない。幹線・引込線の問題もあるので関係者と協議したい。  
水害対策について（稲志別）  
森林の伐採により出水時期が早まったものと思われるが、稲志別川・途別川は一級河川であるので関係官庁に抜本的な改修を要請していききたい。

小学生のためにスクールバスの増発を（新生）  
運行時間のうえからいつて増発は無理である。小学校と相談し中学校の一番早い便に乘車するようになりたい。

糠内公民館および札内福祉センター前の舗装について。  
財政的な裏付けがなく早急に実施することは困難であるが、なんとか希望にしようよう解決したい。

信号機の設置について（開発）  
五十一年度実施するよう関係方面に要望しております。

道教委主催の第4回市町村社会教育主事の海外研修に、本町社会教育主事・本保喜秀が参加の機会を得ました。西欧7ヶ国をまわり充実した施設と永い伝統に支えられた成人教育など、収穫は予想以上に大きかったようです。以下はその欧州教育・風俗見聞記——。



# ヨーロッパ教育見聞記

社会教育主事 本保喜秀

東京の羽田空港を飛び立った研修団は、南ヨーロッパの玄関口といわれるギリシアのアテネを振り出しにイタリア・スイス・西ドイツ・オランダ・フランス・イギリスの各国を回った。

## ギリシア

地中海に張りだした国ギリシアは紺碧のエーゲ海・南欧の太陽・白い丘陵に囲まれた国である。

ギリシア人は、人間関係は決して複雑なものではないと考えて

おり、非常に親しみやすく活気があり楽しむことに才能がある。彼らの価値観は先史時代と変わっていない。それは友人にたいする忠実、歓待を大切にすることである。われわれ日本人にとつてまねることができないだろうと思われることは、時間にたいする感覚である。彼らの生活のリズムは完全に地中海的である。すべてが善意で約束され、もし実現しなくても心配する必要はなく、また明日があるというのだ。

もあつた。食べ物と飲み物に意外と問題が多く、料理の種類は限られているしバターの代わりにオリブ油をふんだんに使って香りの微妙さを犠牲にしている。その結果、私たちの口にはどうもいけない。

市内観光の途中、時計・カメラ車・メガネ・靴など、すべて日本製品を持って自慢しているギリシア人と話したとき、親日家が多いと聞いてはいたが、まのあたりに見て実感がこみあげ私自身の歩き方が変わったような気がした。

だけあつて水球やボート、ヨなども盛んである。また、若者たちはイタリア民謡を得意としていよう。街角で気軽に歌っている光景が見られた。もちろん、ジャズも好みダンスもうまい。

若者の中には、ミケランジェロのダビデのような美男子も見かけるが、男女を問わず、がいて線の細い人はあまり見あたらなかった。

## ローマの家庭教育

ローマ人が胸に抱いていた教育の目的は極めて实际的であつた。

歴史上の人物を模範としてこれを仰ぎ、手本として家庭教育が行なわれていた。その徳の第一として教えられることは信仰であり父母をうやまうことであるようだ。

次には、男は男らしくしっかりと落ちついていることがローマ人らしい徳とされているようだ。

これと関連して人生のいかなる境遇においても男らしい態度を保つ武勇という徳が重んぜられていた。また、名誉を非常に大切にする国でもある。

このほか、イタリアではフィレンツェなどを訪れた。この町は一四〇〇年代の栄光、クロトチエンに文化の華を咲かせた。数々の歴史的人物（シオット、シベルディ、ミケランジェロ、レオナルド・ダ・ヴィンチなど）の作品が見られ、歴史の重みを感じさせる町であつた。

# 陽気さと男らしさと

## イタリア

世界地図を眺めると、長靴を思い出させるイタリア。残念なことにこの太陽の国に到着したとき雨に降られすっきり気分を害してホテルに着くと、そこには明るく陽気なイタリア(ローマ)人が待ちうけていた。

すっかり気分をなおして夜の散歩、そしてレストランで食事—歌い踊りながら約三時間にわたつての長い長い夕食。言葉がわからなくとも心と心の交流、楽し

い語らいができた。これが本当に食事を楽しむことかと、あらためて目ざめたような気がした。

歴史遺産の多い都市で、「ローマは一日にしてならず」のことわざどおり古代をしのばせる街である。

フォロロマーノ、コロセウム、カラカラ浴場など、またバチカン市国をはじめとする教会、美術館博物館も数多く、古代ローマにもどつたような錯覚をもつほどである。映画「ローマの休日」での舞台となったテレビノの泉やスペイン階段も情緒を感じさせる。

町の中では道路はせまく、歩行者優先が車が優先かわからない感

じだが、日本のように事故は目につかなかつた。

古いものと新しいものとの調和を感じさせる街であつた。また小さな町や村の細道にある家々にも歴史と年輪がみられるのもイタリアならではのことであろう。

イタリアは非常に貧しい国と聞きおよんでいたが、麦とオリブの畑が多く見られ、そこで働く人たちの活力を見たとき私の目にはそうは見えなかつた。

## 陽気なローマの若者たち

彼らは健康的な行動を楽しんでいることを強く感じた。スポーツを愛し、音楽を楽しみ、旺盛な食欲をみだし青春を謳歌している。

スポーツはサッカーが好まれていて街のいたるところにサッカー場があつた。海に突きでた半島国

# 受験地獄はない

## スイス

ヨーロッパのほぼ中心に位置する国で北にドイツ、東にオーストリア、南をイタリア、西をフランスと国境を接し海のない国である。この国を象徴する言葉は時計、チョコレート、アルプスである。人口約六百二十万人でドイツ系が大部分を占め、残りはフランス系、イタリア系である。

この国では観光事業が国の財政に重大な貢献をしているため、国をあげて観光事業に取り組んでいる。スイスは水の国で、いたる所に湖水があり豊かな水量は電力を供給している。

スイス経済の中心地チューリヒは周りを雪山に囲まれた都市で町の中を流れている川の美しさ、町の中にチリ一つないなど、町全体が湖畔庭園都市のようであった。郊外へ出て子どもの遊びに入るために、子どもの集まる場所に行ってみた。すると、ちょうどサッカーを楽しんでいるところだった。チューリヒにあるレストランで、たまたま同席した地元市民がこんな話をしてくれたのを思い出す「私の国では、高校生の大学進学

率（国立大学）はやつと三％。ほとんどが技術学校に進みます。受験のために身を粉にして勉強する必要がないから伸び伸びとスポーツを楽しんでいますよ」

こんな話には私はふと、受験戦争のあらしの中で、ネジリはちまきをして机に向かう日本の高校生たちの青ざめた顔を思い浮かべた。

## 西ドイツ

第二次世界大戦での敗戦以来、ドイツは東西に分かれることを余儀なくされた。だが、その廃虚のなかから今日の繁栄を勝ち得た国民性は、私たちの関心をそそぐに充分であった。

ヨーロッパのほぼ中央部に位置するドイツは古くから東西勢力の接点であったそうである。

この国はゲルマン民族の一部が定着したものである。中世までドイツ人はライン川流域からエルベ川あたりまでの範囲で生活していたが、十二世紀になるとエルペ川以東にも生活圏を広げ領土を拡大していった。そして、ハンブルグやブレーメンに代表される都市を建設したそうである。

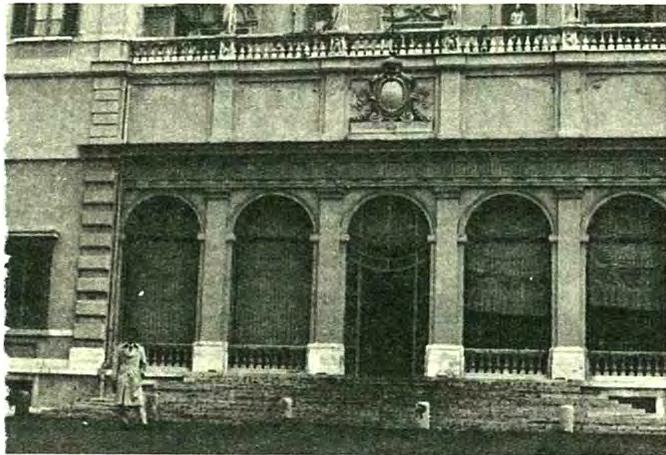
悠久の流れライン川は、それら

の数々の歴史を川面に浮かべて今もゆるやかに蛇行を続けていた。

西ドイツは、なんといつてもこのライン川を船で下ることに味があるというが、残念ながらバスの故障で出発が遅れ、「バス下り」になってしまった。しかし兩岸のブドウ畑（どんな小さな土地も利用）や、岩壁にそびえたつ数々の古城、伝説とハイネで名高いローレライなどを眺めることができた。

（ビールはたしかにおいしかった。）

## フランス文部省教育技術施設



人権擁護委員に早津さん  
錦町の早津健次郎さんが十一月一日付で法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

## 体系的に整理された教育

## フランス

一八〇四年第四共和制、五九年第五共和制となりフランス共同体が確立した。

パリは芸術の母としてその名が、世界にとどろかせているが、ルーブル美術館を見て、その意味、実感として身にした。まった。

ミロのビーナス、サモトラケの勝利、モナリザ、晩鐘等々の数多くの世界的美術品を手にとるように観賞でき、思わず感嘆の声がもれるすばらしいものであった。

館内は自然彩光を天井からとりいれ非常に明るく写真が自由に撮れるし、絵画の模写もできるなど、開放

的な管理体制に教えられる面が多かった。

ノートルダム寺院はセーヌ川のシテ島にその偉容を誇っていた。数々の歴史的な舞台となり、また国家的諸行事も行なわれていたという室内は中世の香りをかもしだし「バラの窓」と呼ばれるステンドグラスの鮮やかな光が印象的であった。

パリを一步出れば豊かな田園にかこまれた農業国で、緑の広い牧場と麦畑、ブドウ畑、リンゴ畑が目についた。フランスはやはり、欧州共同市場（EC）でイタリアとならんで野菜と果物の供給国であることが理解できた。

私たち研修団が、目的の教育施設訪問をはじめて公式に行なったのはパリのコールネッター・エデイクーションという文部省教育技術施設であった。

この施設の機能は、①学校教育における教材の制作および資料の提供 ②視聴覚教材の検閲 ③教師にたいする技術教育（成人教育を含む）、教師の現職教育および代替教員の養成 ④成人教育―直接教育ではなく間接的に通信教育制度に学習の方法・場の提供 などであった。

### 〔現状と方法〕

① パリ市内で二十万人、遠方の人を加えると四十万人がこの施設に登録、または所属して通信によって受講している。こ

ち、六万人が教師としての資格をもち代替教員として教職についている。

② このような施設はパリを中心に六ヶ所に設置されているが、いずれも通信教育制度をとっている。

③ 政府機関として外国人のための教育施設の役割を担い、誰でも就職できるような技術教育を行なっている。

④ 婦人の就職のために、技術、技能の紹介。

⑤ 青年の転職、再就職のための技術教育。

⑥ マスメディアを通して各種学校にたいする教育および教育機関の仕事の内容を知らせる。

#### 〔設置の理由〕

遠くの人、また通学できない人のために機会と場および情報の提供、学校教育の近代化に対処するための資料提供、成人のための技術教育のアドバイザーとしての役割などがあげられる。

#### 〔運営および職員〕

施設は国の機関であり、職員は四十人、補助職員八十人、この施設に指導者として登録されているのは二千五百人。(七百人は社会教育のエキスパートとして、四百人は管理者となっていた)

一九七一年に政府は成人教育の必要性から会社、企業の収益から一%を拠出することを法律で義務づけ、この資金を企業内教育、教育機関の経費にあてている。たと

えば、企業内での生け花、英会話、タイプなどクラブ、グループの育

成指導に講師派遣を行なうなどである。

## 大人の学ぶ施設も完備

### イギリス

ヨーロッパ大陸の西端に浮かぶ小さな島国イギリスは、かつて地球上の人と土地の四分の一を支配し、史上最大の帝国として世界に君臨した。現在は、その権力をな

親はどんな年端のいかに子どもにたいしても、大人にたいすると同じような扱い方をする。しかるときには感情的にならず、どうしていけないかという理由を子どもが納得するまで繰り返し言いつきかせるそうである。また、イギリス人が子どもをしつづけるとき

に強い影響をあたえている。ロンドンを訪れる旅行者が必ず行く所—バッキンガム宮殿である

イギリス人は食事にあまり手をかけないが、子どものいる家庭ではデザートを手まめに作り、おいたをした子どもへのお仕置に「デザートを抜かしますよ」というせりふが効き目があるそうだ。子どもは大人より先に食事をすませて

このバッキンガム宮殿の前で行なわれる衛兵交替の儀式はロンドンで最も人気を集めている。赤と黒の華やかな制服と大きな房飾りの衛兵の隊列は二十世紀を遠く離れた童話の世界を思わせるものであった。

このような習慣を幼児のときからしつづける一方、良い、悪いをきちんと整理して教えこんでいるので学校での教育がスムーズに進むのではないかと思われた。

#### 〔子どもの育てかた〕

親の子どもにたいするしつけは実に立派である。

イギリスの義務教育は一八七〇年に始まり、五歳から十六歳までで、次いで高校、大学へとつづく。

第二次世界大戦後、教育の機会均等が唱えられ、上級学校進学希望者は全国試験制度となったが、労働党の政権になってから、さらに差別教育をなくすために統合中学校に改められた。

大学進学については、小学校における生活記録、親と教師の教育相談をもとに十五歳で受ける中学

大部分が第二志望校に入学すいうことである。

しかし、イギリスでは就職してから勉強したいという意欲があれば大学に入学することができる。

#### 〔だれでも学べる施設〕

イギリスでの私たちの目的、モリー・カレッジでの研修に入っている社会教育施設である。

校長の説明を聞いた。ねらいは、技能、技術の習得であるが資格を付与するものではなく、余暇の時間を使って社会的なものから趣味的なものまで幅広く教育しているそうである。

現在七千五百人の研修生が四百クラスに分かれて研修している。これを担当している講師はロンドン市内のそれぞれのエキスパートである。内容は、演劇、絵画、音楽、映画、ダンスなどありとあらゆる講座が用意され、学ぶ意志さえある人ならだれでも三ヶ月から二年まで希望のコースを選んで自由に学習ができる。

その中でも、私たちが特に感心しユニークに思ったのは、定年退職の心の準備を学習する講座があり、ここへの希望が非常に多いことであった。

また、必要があれば特別の講座を新設する仕組みもあり、宿泊施設や主婦のための託児所も完備した校内は、朝早くから夜遅くまで受講の市民でにぎわっていた。



▶モリー・カレッジで……

校卒業試験と大学受験適正検定を受けた後に、大学委員会に入学を申請する。

進学希望者は、第五志望まで希望することができ、これを受けて大学委員会は三つの選択校を本人の能力にしたがって勧奨する。

本人が第一志望校に入学できないときは、再度試験を受けることができるが、自分の能力を理解し

# 交通事故死ゼロの日 365日達成

(11月1日)



▲事故ゼロを願って住民監視(国道38号線で)

昨年十月三十一日に千住でオートバイに乗った老人が亡くなってから、十一月一日まで交通事故死は起こっておらず、住民総ぐるみの安全運動の成果だといえます。

交通事故死ゼロの日は十一月一日で三百六十五日めをむかえました。

この日は、交通安全協会、幕別農協、若い樹の会、ライオンズクラブ、札内交通安全実践会の協力で国道三十八号線四ヶ所にわかれて交通安全をよびかけました。

今年九月末の集計——(一)内

は昨年同期との比較——で、事故発生件数は二十六件(-20)、死亡者ゼロ(-3)、負傷者四十三人(-31)

となっております。このように、死亡事故はゼロの日がつついていますが、事故そのものがゼロになつたわけではなく、事故の被害者、加害者はいぜんとしてなくなつていません。

交通安全は、言葉や掛け声ではなく実行です。ドライバーも、時には歩行者になるのですから、お互い思いやりを大切にしましょう。

## 母と子の交通安全教室

緑町2公区

緑町(二公区)では秋の住民行事として、十一月二日、母と子の交通安全教室を開きました。

公区内の小・中学生六十人と手伝いの住民の方三十人が青少年会館に集り、信号機を使って正しい歩行の勉強、交通安全標語(十六人、二十七篇の応募)の発表など



▶信号機で正しい歩行の勉強

地域全体で取り組む熱意が感じられました。

〔標語入選作〕

▼みどり町

ぼくらでまもる交通安全

稲葉 珠樹(小四)

▼家族みんなで一声かけて

今日も出かけに交通安全

寺島美奈子(中二)

▼あせらず いそがず 安全運転

佐藤 享(中二)

▼おとなも 子どもも

みんなを守る交通規則

若原ゆみ子(小五)

▼歩行者も 運転者も

守りましょう交通安全

池本 順子(小二)

入選者はいずれも団地内要所に標示されています。

このあと、参加者全員でジャガイモと牛乳のパーティーで親睦を深めました。

●札内短歌同好会募集  
場所 あかしや・堀内孝道宅  
例会 毎月一回第三日曜日。  
冬期間毎月二回、第一  
第四日曜日。  
申込 千住四四三 高田稔へ

## 学校給食を考える

- 4 -

問五 給食費の公費補助(町費補助または国道費の補助)

はないのか。

答 要保護、準要保護児童生徒

または高度へき地学校児童生徒などの給食費にたいする国の補助はありますが、これ

以外には給食費の直接的補助はありません。間接的補助(パン、牛乳)については後に述べます。

ところで、義務教育無償のためから義務教育諸学校の学校給食費も公費で負担すべきで

あるとの意見がありますが、これにたいし文部省は「本来、食費が一般的には個人の負担に帰すべきものであり保護者負担とされている。学校給食費が主として食材料費でもあり、直ちに全額無償とすべきであるとはいえない」としています。

それでは町が給食費の補助をすることにどうかという点、基本的には国の考えと異に

するものではありませんが、地方自治体としては住民のコンセンサス(合意)が前提となりましょう。つまり、年に三〇〇万円なり五〇〇万円の補助を毎年継続するとした場合、その金は間接的に全住民が負担するわけですから、住民が求める行政需要の中で優先すべきものかどうかなど慎重に考えてみる必要があると思います。

# 鍛田さんに秋の叙勲

## 矯正教育で勲七等瑞宝章



春日団地に  
お住いの鍛田  
進さんが秋の  
叙勲で勲七等  
瑞宝章の栄与  
にかがやきました。

鍛田さんは昭和十七年以来、青年学校の教師として満蒙開拓地の青少年教育にあたっていましたが終戦で帰国、昭和二十三年から法務事務官として帯広刑務所に勤務し、昭和四十九年四月、後進に道をゆずって退官するまでの二十六年余にわたって矯正教育につくし

特に、戦後の物資不足時代には受刑者の食糧確保、衣類の確保と寝食を忘れて奔走しました。

## 人権擁護に尽力 法務大臣から 表彰と感謝状

角田さんと藤平さん



永い間、人権擁護委員として困窮の方々の心のささえとなってきた札内市街の角田政平さんと本町の藤平清志さんに、法務大臣から表彰状と感謝状が

た。また、暗いイメージしか連想されない刑務所を、少しでも明るい環境にしようと、施設の改善に努力するなどの功績が認められ、今回の栄与となったものです。



一方、藤平清志さんは、昭和四十三年四月から、一身上の都合で

角田さんが人権擁護委員に発令されたのは昭和三十五年十一月、

以来、家庭内のこと、または困窮している方々にたいし親身に相談相手となり、また、心のささえとなり、現在も第一線で町民の幸福のために活動しており、この功績にたいし人権週間中の十二月十日に

## 少年剣士が熱戦

### 第三回全町剣道大会

文化の日の三日午前九時から第三回全町剣道大会が青少年会館で開かれ、会場がわれんばかりの声援にこたえて熱戦が展開されました。

- 上位入賞者は次の通りです。
- 〔個人の部〕
- ▼小学一、二年 ①高橋滋成 ②川上憲裕
  - ▼小学三、四年 ①石塚徹裕二
  - ▼小学五、六年 ①猪狩裕子 ②武田幹朗 ③秋山喜彦、東藤晴美
  - ▼中学生 ①渡智治 ②藤田

## 民生委員に広川さん

担当区域は札内新 北、幸北、北の二

十一月七日に開催されました民生委員推せん委員会で、欠員中であつた札内新北、幸北、北の二を担当する民生委員に、十日付で札内百三十八番地の広川正男、と推せん

▼秋晴れの午後、娘をつれて買物に出かけました。歌などを口づさみ気分も爽快でしたのもつかの間目の前を見ると四十歳くらいの主婦の方が公共のものであるはずの道路の砂利を自宅に運んでいるのです。そして、それ以上に驚いたことはその作業を小さな男の子に手伝わせているのです。



腹が立ちましたので一筆。でもこのくらいのことでは腹が立つのは私がまだ若いからなのではないか。

(一主婦より)

今月号から『200字の発言』と題して、みなさんからの投書をのせる場をつくってみました。腹のたつたこと、感心したことなど何でもけっこうですから、役場町民課へ二百字くらいにまとめて送ってください。

(町民課・広報広聴係)



写真は声援にこたえて熱戦を展開する少年剣士

困ったことがあれば  
ご相談ください

例年12月の声をききますと、いろいろな困った問題が重なってくるものです。生活のこと、家庭のことなどで困っていることがありましたら、遠慮なく役場民生課か町民課にご相談ください。

# 町政とあなたをむすぶ広報

町民のみなさんに愛される広報紙づくりのため、掲載する内容について種々検討していますが、愛される広報紙とするには、町民のみなさんの協力が最も必要なこと

は言うまでもありません。そこでみなさんにお願いがあります。それぞれの地区で実施する行事、出来ごと、または広報紙上にとりあげては、という内容が

りましたら、広報係まで、ご連絡いただきたいと思えます。このほか、広報まくべつの内容について、お気づきの点がありましたら、どんなことでも、お知らせくださるよう、お願いいたします。

広報係の電話は役場内線一〇八番です。

役場庁舎一階のロビーに『町民の部屋』があります。

右手の町民課で一言お聞きください。おとしよりの方は用務先までご案内します。

## 『町民の部屋』バス・汽車の待ち時間にも

気軽に休んでいただけるように畳を敷いた小あがりも設けてあります。

テレビ、新聞雑誌も置いてありますので役場に用事がなくても、汽車やバスの待ち時間などにも利用してくだ

さい。

このほか、正面玄関を入った所に、お母さん方が子供さん連れでも用がたせるように乳母車を置いてありますので、ご自由にお使ください。

こんな用事があって役場に來たが、どこへ行ったらいのかかわからないという時は、一階正面玄関



### お誕生おめでとう

景山美智恵 倫照・長女(錦町)  
逢坂 香織 幸次・長女(錦町)

### 昭和51年度幼稚園児募集

学校法人十勝竜谷学園幕別幼稚園では、心身ともに健康で情操豊かな幼児を育てることを目標として昭和49年4月1日より開園しておりますが、次の要領で昭和51年度の園児を募集しています。

〔願書受付〕

・第1次…昭和50年12月1日より12月13日まで

・第2次…昭和51年2月6日より2月21日まで

☆平日は午前10時～午後3時まで、土曜日は午前中。定員になりしだい締切ります。

〔保育年限、募集人員〕

1年保育50名、2年保育40名、なお、くわしい内容は幕別幼稚園へご連絡ください。電話は札内局3335番です。

川向ともみ 敏男・二女(錦町)  
岡 寛子 定一・長女(新町)  
金田 武宣 武雄・長男(新町)  
大沢 敏直 敏美・二男(明野)  
杉山 敏彦 勝彦・長男(幸町)  
丸山 亜希 順啓・二女(札内)  
牧野 真也 隆雄・長男(札内)  
長崎 幸一 富男・長男(札内)  
嶋田 征司 光男・長男(千住)  
石田 修作 幸男・二男(依田)  
富山ひとみ 健夫・三女(依田)  
三好 貴裕 義隆・長男(依田)  
小笠原ゆかり 邦杲・二女(札内)  
木川 尚治 東洋治・四男(札内)

川原 亮平 正博・長男(依田)  
西尾 達也 治・長男(依田)  
栗林 義和 広治・二男(依田)  
中山 啓一 満・長男(依田)  
高橋 江美 光秀・長女(日新)  
大山 昭洋 芳昭・長男(栄)  
青山まどか 信介・長女(札内)  
舟根 純一 恒臣・長男(千住)  
村上 育寿 文夫・二男(依田)  
粕谷 美紀 義典・二女(札内)  
前谷 千景 進・長女(依田)  
吉村美咲姫 義行・二女(札内)  
金子真理子 敏幸・長女(札内)  
神山 英敏 政三・二男(千住)  
井村 修司 和秀・二男(栄)

### 結婚おめでとう

佐藤 勇一 礼子(木藤) 南町  
須藤 孝一 昭子(市川) 宝町  
小野瀬忠男 恵子(中野) 相川  
高橋 政雄 康子(木田) 札内  
広瀬 厚一 陽子(湯浅) 千住  
藤田 賢二 茂子(小野寺) 札内

### 篤志寄付ありがとうございました

狩谷喜代助さん  
大槻 賢三さん(札内) 七十歳  
千田コツルさん(千住) 七十五歳  
清水 万吉さん(札内) 八十一歳  
鈴木 正義さん(千住) 五十五歳  
中島 米子さん(札内) 六十七歳  
佐藤 留七さん(駒島) 九十九歳  
影山 宇一さん(豊岡) 八十歳  
吉田 忠幸さん(明倫) 五十一歳  
土井 正さん(宝町) 四十四歳  
安藤かほるさん(相川) 五十一歳  
三十万円 幕別サービス店会(吉田栄逸会長、会員二十四名)ではケットサービスの剰余金を教育備品の充実に使用してほしと幕別小学校に十五万円、幕別中学校に十五万円を寄付。  
十万円 前町長・中島国男さん(札内)より妻が生前お世話になりましたと町社会福祉協議会へ寄付。  
十万円 松岡竜次郎さん(糠内)は糠内老友会用のステレオ・アンプを購入してほしいと寄付。

### 訂正

十一月号四ページの職員一覧のなかで、教育委員会(ポイラー技士) 鮎一栄がもれていましたので訂正します。